



Sendai International Center News

SIRA NEWS

仙台国際センターだより



FEBRUARY



「国連防災世界会議
ジュニアカンファレンス」開催！

公益財団法人 仙台国際交流協会

Sendai International Relations Association (SIRA/さいら)

【管理課】

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山 仙台国際センター内
TEL 022-265-2211 FAX 022-265-2485 ✉ info@sira.or.jp

【総務企画課】

〒980-0804 仙台市青葉区大町2丁目2-10
仙台青葉ウイングビルA棟11階
TEL 022-265-2480 FAX 022-261-0611

URL www.sira.or.jp

*SIRAは、仙台国際センターの管理・運営を行っています。



Information from SIRA

第3回国連防災世界会議 パブリック・フォーラム

「多文化防災フォーラム ～外国人市民と一緒に
地域防災を考えよう～」

SIRAでは、外国人市民と日本人市民がともに地域防災を考えるワークショップ教材を作成しました。本フォーラムでワークショップを公開するとともに、その体験を通じて多文化共生の視点に立った地域防災やまちづくりについて考えます。

日時：平成27年3月15日（日）10：00～11：40
（受付開始 9：30）

場所：TKPガーデンシティ仙台勾当台ホール6

対象：どなたでも。とくに、町内会や自治体、学校などで地域防災に取り組む方。

定員：80名（ワークショップ参加は先着50名まで。見学のみ可。）

参加費：無料（要事前申し込み）

使用言語：日本語（通訳が必要な方は、お申し込み時にお知らせください。）

申込：SIRA企画係022-265-2480 締切：3月6日（金）

世界の料理

リトアニア



★ツェペリナイ

「リトアニア料理と言えば？」と聞かれて多くの人が一番に挙げるのがツェペリナイ。飛行船の形をしたじゃがいもの団子の中にお肉やキノコなどを入れて茹で、クリームソースをかければ完成。



★シャルタボルシチ

夏によく飲まれる冷製スープ。注目すべきはその色。なんとピンク。その色からピンクスープとも呼ばれている。赤カブのスープにサワークリームを入れて作るため、ピンクになるのだそう。茹でたじゃがいもと一緒にいただきます。

＊2月の仙台国際センター休館日＊

2月1日（日）、12日（木）、13日（金）

10日（火）15時以降と、11日（水）は交流コーナー図書室の閉室日

EVENT INFORMATION



仙台市内・近郊で今月行われる国際イベントのご紹介です。

8
(日)

**10周年記念公開研修会 漢字は面白い！
一こんな工夫をすると、漢字が苦手な子どもたち
が楽しく学べるー**

非漢字圏から来日した小中学生のために、漢字
学習の工夫を考えます。

日時：2月8日（日）10：00-16：00
（受付開始9：00）

場所：生涯学習支援センター

対象：どなたでも

主催／問合せ：外国人の子ども・サポートの会
jets@sda.att.ne.jp 090-2793-8899

申込：メールかFAX（022-375-5639）

申込期間：1月31日（土）まで

※SIRAが後援している事業です



19
(木)

軍事性暴力の世界史とアフリカ

女性に対する軍事性暴力の歴史は、洋の東西を
問わず古代から綿々と続いています。アフリカ
にも光をあてつつ、富永智津子氏（宮城学院女
子大学元教授）がお話します。

日時：2月19日（木）10：00-12：00

場所：仙台国際センター交流コーナー研修室

参加費：700円

対象：どなたでも

主催／問合せ：アフリカ・セミナーの会

TEL・FAX：022-362-7907



22
(日)

BETOAJI SENDAI ベトナム料理教室

ベトナム料理を作りながらお話をしたりベトナム
の音楽を楽しんだり作った料理をみなさんで
頂きましょう。

日時：2月22日（日）10：30-13：00

場所：青葉区中央市民センター

参加費：1000円

対象：どなたでも

主催／申込／問合せ：BETOAJI SENDAI
090-6683-6068（トウアン）

betoaji.sendai@gmail.com

申込期間：2月20日（金）まで

持ち物：エプロン・手拭きタオル・
三角巾



BETOAJIとは…

世界中の人々にベトナムの文化を紹介しながら、ベ
トナムの貧しい子供を支援することを目的とし、日
本に留学しているベトナム人留学生によって設立さ
れた慈善団体です。日本各地でベトナムの食や文化
などを伝えるイベントを主催しています。頂いた参
加費から諸経費を差し引いた金額は全て、山岳地帯
に住む貧しい子供たちを支援するために使われてい
ます。

(<https://sites.google.com/site/sendaibetoaji/>)

28
(土)

国際理解教育シンポジウム

在外教育施設での教育活動や、帰国子女教育に
ついて研修をします。当日は、帰国者による
ディスカッションや分科会での話し合いを予定
しています。

日時：2月28日（土）14：00-16：30

（受付開始13：30）

場所：仙台国際センター交流コーナー研修室

参加費：無料（資料代として会費未納者は
1000円）

対象：宮城県内の教職員

主催：宮城県国際理解教育研究会

問合せ：事務局（担当：宮崎）

申込：所属校及び氏名をメールで

E-mail：miyagikenkokusairikai@gmail.com

申込期間：2月27日（金）17：00迄

今月のピックアップ

「国連防災世界会議ジュニアカンファレンス」を開催しました！



12月7日（日）に、仙台国際センターで「国連防災世界会議ジュニアカンファレンス」を開催しました。

3月14日（土）～18日

（水）に仙台で開催される国連防災世界会議について次世代を担う子どもたちに知ってもらい、防災意識や国際感覚を身に付けてもらうため、中学生を対象として企画したものです。

当日は、ニュージーランドと韓国出身の講師から、外国人ならではの震災体験について講演がありました。約50名の参加者は、震災後母国に帰らず仕事や支援活動を続けた2人の話に真剣に聞き入りました。また、国際会議で使われる同時通訳も体験。イヤホンから流れる通訳内容に耳を傾けました。

講演後、防災や災害対応、海外への災害支援について、グループ討論と発表が行われました。「日頃から地域の人と繋がりを深めていけば、災害時も助け合える」「災害に遭った国の人とコンタクトを取り、実際に必要な支援物資を送る」など、大人顔負けの議論が交わされ、奥山市長より「経験に基づいた考えを発表したのが素晴らしい」との感想をいただきました。

最後には、ジュネーブにある国連防災世界会議事務局の責任者ニール・マクファーレン氏もサプライズで登場。世界中の方々が関わる重要な会議であることを実感できたのではないかと思います。



3月の会議期間中は、仙台市内の各会場で一般の方々も参加できる「パブリック・フォーラム」が多数開催されます。皆さんもぜひ足をお運びください。

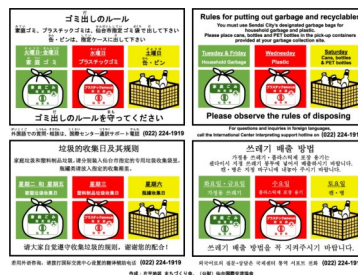
事業報告

「多言語ゴミ出しルールシート」を掲示しました！

12月20日、多言語ゴミ出しルールシートを花壇・大手町町内2か所のゴミ集積所に、町内会の方と近くに住んでいる留学生が掲示しました。



このゴミ出しルールシートは、片平地区まちづくり会から提案があったことで始まった、町内会とSIRAの協働事業です。1枚のシートに4言語（日本語、英語、中国語、韓国語）で、家庭ゴミ、プラスチックゴミ、缶・ビンを出す曜日を表示しています。このルールシートを片平地区の100か所以上のゴミ集積所に掲示する予定です。



今後、このルールシートの掲示で、どのような効果や変化があったのかを追跡調査します。片平で掲示したこのルールシートはSIRAのホームページからご覧いただけます。詳しくはSIRA総務企画課までお問い合わせください。

市民のCHIKARA



地域でがんばる団体と市民をつなぐ“団体活動紹介コーナー”です。今回ご紹介する団体は、「CEA in SENDAI」です。代表の鈴木憲雄さんにお話を伺いました。



CEA in SENDAI

Q：いつ、どのような目的で設立された団体ですか？

A：2011年2月22日に発生したニュージーランド・クライストチャーチでの大地震がきっかけで、2月の震災後すぐに設立しました。当時仙台で暮らしていたクライストチャーチ出身のメンバーを中心に、現地への支援を募る活動をスタートさせました。

Q：団体名の由来はなんですか？

A：CEA は、「Christchurch Earthquake Appeal」の略です。仙台も大震災からの復興途上ですが、同じく復興を進めるクライストチャーチを支援していきたいと考えています。

Q：具体的な活動内容を教えてください

A：イベントで募金活動を行い、集まったお金をクライストチャーチに届けています。寄附先は、クライストチャーチの児童養護施設「Cholmondeley」（チャムリー）です。また、様々な形でクライストチャーチの人々と交流を続けています。詳しくはHP（<http://supportchristchurch.jimdo.com/>）をご覧ください。



Q：今後の活動について

A：毎年、大地震が起こった2月に、仙台国際センター交流コーナーでパネル展を行っています。クライストチャーチの復興の様子と私たちの活動報告を行います。（2015.2.21-28予定）

Q：読者の方々にメッセージをお願いします！

A：同じ年に大きな災害に遭った街と街

「忘れないってことがつながること“WE REMEMBER 22 FEB & 11 MAR 2011”」



WE
LOVE
SENDAI

このコーナーでは、仙台で国際活動をする市民が活動紹介や仙台の魅力を伝えます。

「にほんごのもり」で日本語を学習する中国出身の葛言傑さん
（写真右）と呉勝楠さん（写真左）にお話を伺いました。



お2人は中国のどちら出身ですか？

呉さん：河南省です。人口が約1億で、麦の生産量が中国一ということで有名です。

葛さん：遼寧省の大連です。緯度が仙台とほとんど同じところにある都市です。

日本に来たきっかけを教えてください。

葛さん：中国の大学で日本語を学んでいて日本人とも交流があり、日本の文化にも興味があったので、自然と留学を考えていました。

呉さん：主人が2012年から東北大学に留学していたので、離れて住むのが寂しくなり、私も去年9月に来日しました。

仙台の印象を教えてください。

葛さん：自然がとても豊かですね。さすが「杜の都」と呼ばれるだけのことはあると思います。ビルが多いのに、木もたくさんあります。東京ほどは大きくないですが、店や施設がコンパクトにまとまっていて、とても住みやすいです。

呉さん：私は中国の内陸部出身なので、海を見たことがありませんでした。来日するときの飛行機の中からも海は見ましたが、休みの日に松島に遊びに行き、目の前の海を見たときはとても感動しました！また、四季がはっきりしていると思います。紅葉のシーズンはとてもきれいでした。

葛さん：あと、人がみんな優しいです。だから、母国を離れて暮らしていても、寂しさを感じたことがないです。

最後に、お2人のこれからの目標を教えてください。

呉さん：今はまだあまり日本語を話せないなので、もっと勉強して日本語を上手に話せるようになって、仙台で仕事をしたいです。

葛さん：私も、もっと日本語を勉強して、日本人と言葉の壁がなく話せるようになって、日本の生活に馴染んでいきたいです。